

2021.
JULY

N
O
428

NOZOMI

Stand Out! ～次世代がより豊かになる^{まち}仙台へ～

Special Talk

歌手・タレント

さとう 宗幸 × 菅原 啓太

公益社団法人 仙台青年会議所
第70代理事長

02 | 理事長対談 ■ ^と季節はめぐり また夏が来て

Contents

08 | 仙台七夕花火祭特集

10 | 事業報告

15 | 編集後記



<https://www.sendai-jc.or.jp>

公益社団法人 仙台青年会議所 2021年度広報誌

本誌は仙台青年会議所の運動を幅広く一般の方々に発信するための広報誌です。
仙台青年会議所公式ウェブサイトでも本誌に掲載された内容をご覧いただけます。





Special Talk

Muneyuki Sato



Keita Sugawara

理事長対談

歌手・タレント

公益社団法人 仙台青年会議所
第70代理事長

さとう 宗幸 × 菅原 啓太

と き
季節はめぐり また夏が来て

さとう宗幸氏は43年前、全国的に無名でありながら「青葉城恋唄」という後世に語り継がれる名曲を発売し、100万枚を超す大ヒットを記録しました。今回は、長年この仙台というまちと向き合い、まちの変化を見てきた さとう宗幸氏に青葉城恋唄と関わりの深い毎年の風物詩でもある仙台七夕への想い、そして東日本大震災から10年経った今、これからも愛する仙台への想いを伺いました。

菅原理事長（以下、菅原） 本日は、仙台の著名人として、仙台の夏の風物詩でもある仙台七夕に縁のあるさとう宗幸さんにお話を伺いたいと思い、対談をお願いさせていただきました。よろしくお願いたします。

さとう宗幸さん（以下、さとう） 私もお会いできることを楽しみにしていました。こちらこそご指名いただきまして、ありがとうございます。よろしくお願いたします。

名曲「青葉城恋唄」 誕生秘話と七夕の夜空の下で 歌ったあの日を振り返る

菅原 さとう宗幸さんといえば、まずは代表曲の「青葉城恋唄」を連想いたします。今回の対談では、楽曲が誕生した背景をお聞かせいただき、そして、1978年の第9回七夕前夜祭（仙台七夕花火祭）のステージで歌われたときのエピソードをお話いただきしたいと思います。

また、東日本大震災から10年経った仙台に想うことなどをお聞かせいただきたいと思っています。

さとう 1978年に七夕前夜祭で、歌わせていただきました。それにして当時の記事をよく見つけましたね（1978年の「のぞみ」を見て）。菅原理事長は今おいくつですか。

1978年発行「のぞみ」



菅原 今年で33歳になります。1988年生まれです。

さとう そうですか。青年会議所に今いるメンバーには、当時の七夕前夜祭の西公園のステージ企画を、ご存じの方はいらつしやらないでしょうね。43年前ですから。

菅原 そうですね。それこそ当時の「のぞみ」が残っていて、拝見させていただきました。

さとう 懐かしいですね。私の曲が全国的にヒットした背景は2つあります。一つ目は、1978年の仙台の七夕前夜祭のあのステージでした。青葉城恋唄は、私と同時期にダークダックス



スの皆さんも競作で発売されました。そのこともあって、七夕花火祭の実行委員会の皆さんの企画だったのか、レコード会社の思惑だったのかわかりませんが、青葉城恋唄を歌っているダークダックスとさとう宗幸を同じ七夕前夜祭のステージに立たせようということになりました。大ベテランのダークダックスの皆さんに比べて、私の名前は、地元仙台では知られていましたが、全国的には知名度が低い頃でした。そのような状況でダークダックスの皆さんと同じ舞台上に立つとなると、見栄えとして弱

いということ、レコード会社と事務所ので考えたのが、青葉城恋唄を歌う私と浴衣姿の宮城学院の女子大生を共演させることで、夏の爽やかな雰囲気を出す演出をしました。それが地元仙台でのヒットに火をつけていただきました。だから、当時の七

夕前夜祭の実行委員会が、何度も打合せに来ていただいた記憶が今でも残っています。

そして、もう一つ、これは皆さん当然ご存じでないと思いますけど、当時の朝のNHKの全国ネットのニュース番組で、スタジオ102（1965年〜1980年）という報道番組がありました。その番組は、サラリーマンの方や経済人の方を含めて、ほとんどの方が見るといぐらいの高視聴率番組でした。番組内で、今仙台で「青葉城恋唄」がひそかなブームになっているということで、取り上げていただくことになりました。青葉城址の林の中で、それこそ流しみたいにギターだけを持って、歌わせていただきました。

当時は、報道番組で、1人の歌手が歌うということがまずあり得ない時代で、1コーラスだけじゃなくて2コーラスも歌わせていただきました。そし





公園のステージが思い浮かぶと同時に、あのときに仙台から大きなうねりをつくってくださった皆さんに、本当にもう43年たった今でも感謝しています。

菅原 こちらこそ本当にありがとうございます。実は、私も2019年に仙台七夕花火祭の実行委員長を務めさせていただきました。その経験から仙台市の皆さんにとって、仙台七夕花火祭は一大コンテツツになつていくなあと改めて感じました。そして、1978年当時にさとう宗幸さんや仙台青年会議所の先輩方々が仙台七夕花火祭の価値を高めてくださったおかげで、今

もなお続けて開催できているのだらうと感じております。

で、その放送が終わってから、全国のレコード店からのオーダーが殺到しました。それが全国的な大ヒットのきっかけとなりました。

さとう ちなみに、それまでは、仙台には意外にもご当地ソングが存在しませんでした。当時、全国にご当地ソングはありましたが、当時の音楽業界では、仙台からご当地ソングはヒットしないというジンクスがなぜかありました。音楽では仙台はある意味、不毛の地とまで言われていました。仙台から名曲でありますとか、シンガーも含

めて、いろいろな仙台を歌った楽曲があっても大ヒット曲になるということはない。この青葉城恋唄のヒットは、私も仙台のレコード店の皆さんも地元メディアの皆さんも念願の思いでした。NHKの放送がきっかけで全国的に広まった青葉城恋唄ですが、地元では、イの一番に東北放送で取り上げてくださったりして、仙台から生まれた楽曲だということ

で仙台のメディアが取り上げて押し上げてくれました。

菅原 なるほどですね。そのようなジンクスの中で青葉城恋唄が今までの流れを変えるように、仙台の多くの人々を巻き込んでいったのですね。

さとう さらに、1978年当時は、仙台駅はまだ国鉄の時代です。駅構内で1人の歌手の歌を流すということは国営だけに御法度ですが、当時の駅長さんの英断で仙台駅に特急が着くたびに、青葉城恋唄をホームで流してくれました。そして、極めつけに大晦日の紅白歌合戦に出た12月31日はエンドレスで青葉城恋唄を仙台駅構内で流してくれました。ですから、皆さんが御法度やルールを破ってまでも仙台からヒットした曲を押し上げてくれたことは、私にとつて忘れてはいけないことです。

菅原 皆さんが一体となつて押し上げていただいたということは、仙台市民も待望したことだったのではないのでしょうか。

さとう はい、そうですね。おそらく多くの方も喜んでくださったと思います。1978年当時、仙台市から1枚目となる賛辞の盾をいただけたことも嬉しく思います。

菅原 青葉城恋唄が仙台のご当地ソングとして有名になるまでにそんな秘話があったことを知る事ができまして、大変嬉しく思います。

さとう 翌年、東北学院大学も含めて宮城県内の大学受験者数も増えたという話です。

菅原 大変素晴らしい効果ですね。私たちも、若い人たちに仙台に来てほしい、仙台にそのまま留まってほしいということを考えていますが、1978年はそれが歌の力で実現していたということですね。

さとう そうですね。仙台に興味を持ってくれる受験生、若者がたくさんいらっしやいました。

仙台七夕への想いと誇り

菅原 青葉城恋唄の歌詞を拝見しますと、「七夕」というキーワードが結構出てきますが、仙台七夕まつりに対するさとう宗幸さんの想いや考えというのをお聞かせいただけますでしょうか。

さとう そうですね、デビューして間もない頃、たまたまテレビを見ていた

ら、全国放送の朝の番組で神奈川県平塚市の七夕まつりを持集していました。そのときのレポーターが、「ここが日本一の七夕の平塚です。御覧ください。」と報道していましたが、当時の平塚の短冊飾りは、ビニールで仙台の七夕まつりの豪華絢爛なきらびやかさとは全然違っていました。仙台七夕まつりは、40年前もそして今も恐らくこれからも、誇りとすべきところでしょう。それは、七夕を大事に愛している仙台市民の総意だと思います。

菅原 仙台に誰かを連れてこようとすると仙台は何もないと言う方がいますが、自分たちが住む土地、自分たちの地域を「日本一、一番いいところだ」と言いたくないのかと私は思います。仙台には日本一の七夕まつりがあるじゃないかと。その前日には、仙台市民の皆さんに非常に周知されている仙台七夕花火祭があり、仙台は、価値ある魅力が大いにあると思います。

さとう おっしゃるとおりですよ。

菅原 少し話は逸れてしまいましたが、仙台は青葉まつりもありますし、瑞巖寺や輪王寺など素晴らしい町並みや文化が見えてくると思います。

さとう もちろんあります。最近の花火は近場では見たことはないですが、少し離れた場所から見ています。

さとう そうですね。歴史遺産はたくさんありますし、それは近代的なものだけじゃなくて、伊達政宗公以前の仙台はそんなに深くはわからないまでも、政宗公以降の仙台は、政宗公自身がこのまちに価値をつくり出そうという意気で造られたまちだと思います。ですから、脈々とした歴史そのものと、その歴史がつくり出してきた遺産というものが仙台のまちにはいっぱいあるから、青年会議所の皆さんにこれからも全国に発信して守っていただきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

菅原 ありがとうございます。歩道橋の上は花火の眺めがすごく良いですよ。あそこから見ると一番の特等席です。実は、西道路を封鎖するのも花火のときだけです。なので、道路点検の方々も、そのタイミングに西道路を点検します。ただ、西道路を止めて観

菅原 かしこまりました。仙台七夕花火祭はご覧になったことはありませんか。

菅原 ありがとうございます。歩道橋の上は花火の眺めがすごく良いですよ。あそこから見ると一番の特等席です。実は、西道路を封鎖するのも花火のときだけです。なので、道路点検の方々も、そのタイミングに西道路を

客の方々がずらっと広瀬通方面に並ぶ姿、そして、花火が上がったときの喚声というのは思い返すだけで胸が高鳴ります。

さとう 本当によいことです。あれは青年会議所の皆さんにとって感動のひと時でしょう。

菅原 そうですね。もう本当に感動のひと時です。残念ながら去年はコロナ禍もあり、例年同様の仙台七夕花火祭の開催ができず、大変悔しかったです。ただ、通常通りに開催ができないときに全く開催をしないわけではなくて、何かできる方法をその時々で考えて続けていきたいなと思っております。

さとう そうですね。まちの誇りを絶やさずに続けていただきたいと思っています。

東日本大震災から10年経ったいま想

菅原 話は変わりますが、ちょうど今年で東日本大震災から10年という節目の年です。この10年間、さとう宗幸さんがいろいろと仙台を見つけたうえで想うことがあればお聞かせ願いたいと思います。

さとう 東日本大震災の被災地というと沿岸に目を向けがちですけれども、沿岸の被災地を支えることに貢献できたのは、仙台市のように大きなまちがあればこそだと思います。そのような



意味で、あの巨大地震の被災地の一大都市として、仙台というまちはその役割を果たしてきたという想いは感じています。

ただ、100万都市でも、あれだけの巨大地震が来ると日常が完全に失われるものですね。

菅原 そうですね。東日本大震災以上の震災や災害がまだこれから全国的には起こる可能性があると言われていきますし、被害の大きさが想像できないところもたくさんあるだろうと思います。

さとう ある意味、今後想定される地域においては仙台を含めて、東日本大震災の被災の経験をいろいろな形で知っておく必要があると思います。もちろん、その後の10年間も含めてです。

菅原 そうですよ、確かにそうです。

さとう 震災当時が、どのようだったかだけではなく、震災後の被災地はどうだったかも含めて、これから被災が想定される所の人たちは、東北に目を向けていただきここから習うべきものを習っていただければ幸いです。

菅原 青年会議所は全国に会員が約3万人いて、仙台にも何かあれば来る方もいらつしやいます。そういう方々がお越しになったときは、当時の遺構をご覧いただくだけではなくて、その後に復興に向けて歩んでいったかをお伝えしております。被災後の現在、どのような生活を送っていて、それを自身の家族や周りの方に何を伝えているのかということを見ていただいたりもしています。そのような点が大事だと思っております。

さとう 本当に大事だと思います。とりわけ、被災地の震災直後のコミュニ



ティー作りは、被災地の我々もよく知って、それを伝えていく必要はあると思います。いろいろな形のコミュニティ作りがありました。一つの体育館に2千人ぐらい集まって、寝るところも確保できないような避難所で、どうやってコミュニティをつくっていったらいいかを煩悶してつくり上げていった人もいます。それは、勉強しておく必要があると思います。これから被災が想定

される地域にお住まいの人にとっては、特に必要だと思います。

菅原 そうですね。かといって、この宮城県とか東北地方も全く今後被災の可能性がないとも言えない状況です。

さとう そんな話を聞きますね。震災の記憶を風化させずに、今後起こるかもしれない災害に備えることが大切ですね。

仙台青年会議所メンバーに向けて

菅原 最後になりますが、私たち仙台青年会議所メンバーに向けてメッセージがあればお聞かせいただけますでしょうか。

さとう そうですね、ライオンズさんやロータリーさんなど幅広い年代の方々のボランティア団体もありますが、青年会議所の皆さんはとにかく若いので、発想を大事にしてほしいです。若い人の話をすると、よく口に出すのは震災のときの女川の話です。今の須田善明町長はまだ40代です。10年前にまだ彼は30代でしたけど、震災直後から新しい女川のまちづくりをすると提言したときに、今後のまちづくりに関しては60歳以上の人間は口を出さず、とにかく若い者に任せようと町民が一体となって復興を行ってきました。そして、驚いたのが実は60歳以上の人間は口を出さなかったのが60歳以上の人たちだったのです。



菅原 これからのまちづくりは若い人
たちだけで考えなさいと伝えたかった
のですね。

さとう そうです。だから、女川のま
ちというのは、いち早くまちの形をつ
くり始めました。また、震災後の津波
被害に遭ったにも関わらず、女川町は
防潮堤がありません。おそらく、その
アイデアも若者たちの発想だと思っ
ます。やはり港町に生まれて、海のそ

ばで海を愛して育ってきた若者たち
が、この女川で海が見えないのはおか
しいと考えて、防潮堤を造ることをや
めたのでしょうか。そういうことも若い
人たちがみな率先して女川のまちづ
くりを構想したためだと思います。

それと同じように、仙台のような1
00万人都市が歴史と伝統を踏襲する
だけじゃなくて、それを大事にしなが
ら若い人なりに活動してほしいです。
しかも、青年会議所の皆さんはいろい
ろな意味で発言力、発信力を持つ
ていると思うので無駄にしない
で、どんどん前に出していつて
ほしいなと思います。

菅原 ありがとうございます。

さとう ただ、年寄りたちは、
ことごとくそれは駄目だ、これ
は駄目だと言うと思うけれど
も、それに屈してほしくないと思
います。若い発言力、発信力、
リーダーシップのある皆さんだ
と思っているから期待しており
ます。

菅原 仙台青年会議所では、理
事長が毎年スローガンを作りま
すが、今年のスローガンはこの
「Stand Out!」にして
います。この言葉の意味は飛び
抜けたとか傑出したという意味
です。いい意味で出る杭を目指
しております。

さとう なるほど、いいですね。



菅原 おっしゃるとおり、周りからは
いろいろ言われると思いますが、それ
は叱咤激励だと捉えて、自分たちの
思っていることを行動に移して発信し
ていこうと考えています。まちを良く
するために自分たちが思っていること
を発信して行動していく若者も地域に
は必要だと考えます。だから、僕は
僕らなりに考えていることをみんな
発信して、打たれてもいいじゃないか
と、やっていこうという意味合いを込
めております。

さとう そうですね。まさに、いろい
ろなことに働きかけていってほしいと
思います。今までのこの社会で功成り
名を遂げた人というのは、多くの方が
思い切った何かにかけるという世
代ではなくって、いっていると思うので、だ
からこそ何かとにかく働きかけること
によって、全部が成功するわけではな

いけどそういうのを大事に活動してほ
しいと思います。

菅原 はい。本日はありがとうございます
ました。

さとう こちらこそ本日はありがとう
ございました。



さとう 宗幸（さとう・むねゆき）
1978年に発売された「青葉城恋
唄」が100万枚を超す大ヒットと
なり、その存在が全国に知られるシ
ンガー・ソングライター。現在、
ミヤギテレビの夕方の顔として25年
以上続く「OH!バンドス」のパ
ーソナリティーを務めている。子供か
ら大人までに愛される仙台を代表す
る歌手として活躍している。

仙台七夕花火祭

笑顔



公益社団法人 仙台青年会議所
七夕花火祭特別委員会
特別委員長

齋藤 恵太

仙台七夕花火祭の開催に際し、これまでご協力をいただきました皆様、そして、本年もお力添えいただきありがとうございます。あらためて感謝を申し上げます。

さて、仙台青年会議所の主な事業の1つとして仙台市民の皆様のご理解とご協力のもと、半世紀以上に亘り継続して開催されてきました仙台七夕花火祭ですが、おかげ様をもちまして本年度で第52回を迎えることとなりました。仙台で恒例となり毎年8月5日に開催されてきた仙台七夕花火祭は、1970年に「ぼくとわたしのお祭り広場」として始まり、長らく市民に愛されてきました。今では、仙台の夏の風物詩として、全国でも数少ない市街地で打上がる花火祭として広く認知されるようになり、毎年多くの市民の皆様が来場し、街が活気に溢れる日となります。

本年は、昨年発生した新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、社会生活にお

いて様々な制限が必要とされ、多くの市民の皆様にご来場いただいていた開催することが困難を極める状況でございます。しかしながら、仙台市民の皆様が地域を愛する気持ちを高めていただくという目的のもと、継続して開催されてきた仙台七夕花火祭は、仙台の未来に明るい光を齎す役割を持ち、今日の社会情勢においてこそ、市民の皆様がより豊かになる仙台の実現に向けて必要な事業であると考えております。

本年の仙台七夕花火祭は、人との出会いや、つながりの大切さをあらためて考えていただく機会として、地域愛の輪が広がります。市民の皆様が溢れる仙台にしたいという想いを込めて、「笑顔〜未来を灯し、より豊かになる仙台へ〜」をテーマに開催します。第52回仙台七夕花火祭では、市民の皆様から仙台の未来に向けたメッセージや、これまでの仙台七夕花火祭にまつわる思い出に残るエピソードをお寄せいただき、8月5日は地域愛の輪が広がりを齎す日として、大切な人とご自宅で花火を楽しんでいただき、仙台が笑顔で溢れる日にしたいと考えております。さらに、次世代もより豊かになる仙台の実現に向けて願いを込め、仙台市

内複数箇所です。約5分間の花火を打上げることで仙台の夏の夜空を彩ります。

今日の社会情勢を鑑みて例年とは開催形式が異なりますが、50年以上継続して開催されてきた仙台七夕花火祭を未来へ残していくためにも何卒ご理解いただき、市民の皆様が笑顔で仙台を明るく灯し、地域愛の輪が次世代にもつながる事業にしたいと思っております。

第52回仙台七夕花火祭開催に向けて、引き続きご協力の程、よろしく申し上げます。



★8月5日★

笑顔広がる おうちでDE花火

8月5日はおうちで手持ち花火を楽しもう！そして、写真を「#おうちDE花火」「#仙台七夕花火祭2021」をつけて投稿しよう！後日、投稿していただいた写真でモザイクアートを作成！

109万人の 笑顔でつなぐ メッセージリレー

「仙台の未来に向けたメッセージ」動画を「#仙台七夕花火祭メッセージリレー」に投稿しよう！8月5日、投稿していただいた動画を集めたメッセージリレー映像を作成！

笑顔溢れる 仙台七夕花火祭 エピソード募集

笑顔溢れる過去の仙台七夕花火祭にまつわるエピソードを募集します！エピソードは随時、公式HPやSNS、メディアを通じて発表していきます！



応募フォームは
こちらから

第52回

仙台七夕花火祭

SENDAI TANABATA
HANABI MATSURI 2021

笑顔

～未来を灯し、より豊かになる^{まち}仙台へ～

第52回仙台七夕花火祭は、テーマを「笑顔～未来を灯し、より豊かになる^{まち}仙台へ～」として、「市民の皆様笑顔が溢れる^{まち}仙台にしたい」という想いを込めて開催します。

本年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ご自宅で楽しむ花火祭として実施いたします。

これまでにはない仙台七夕花火祭となりますが、沢山の笑顔の花を咲かせ、^{まち}仙台を明るく灯していきましょう！

8月5日 打ち上げ花火実施について

本年の打ち上げ花火は、**仙台市内複数個所で5分程度、開始時間・場所を非公開**とした**無観客**で開催させていただきます。打ち上げ花火の様子は、動画でのLIVE配信も行います。**打ち上げ場所周辺への移動は固くお断り**いたします。ご理解・ご協力のほど、宜しくお願いいたします。



LIVE配信
はこちらから

「共に始める」会員拡大セミナー開催

2月25日(木)

会員拡大セミナー開催

2月25日(木) 会員開発委員会による仙台青年会議所メンバー向けの会員拡大セミナーが開催されました。

第1部のセミナーでは、会員拡大の重要性をメンバーに更に理解していただくために、会員開発委員会委員長の寺崎修平君より組織が一丸となって会員拡大に取り組むためのセミナーを行いました。

また、第2部の交流座談会では、

常任理事会構成メンバーと昨年度2020年に入会したメンバーによる座談会を行い、在籍歴の長いメンバーの活動経験を基に仙台青年会議所の魅力や会員拡大の重要性について意見交換を行いました。

「共に始める」をテーマに、メンバー一丸となって会員拡大をする意識を共有しました。



メディアリテラシーを学び情報発信の担い手へ

3月5日(金)

第2回例会(2月例会) ～メディアリテラシーを身につけ情報発信の担い手となれ!～の開催

3月5日(金)に仙台青年会議所メンバー向けの例会を開催しました。

第2回例会では「メディアリテラシー」をテーマに、講師として令和メディア研究所主宰の下村健一様をお招きし2部構成で実施しました。

第1部は、メディアに惑わされないための4つのポイントについてご講演いただき情報過多時代における情報の捉え方についてご講演いただきました。

第2部は、例会担当委員会の広報委員会委員長高橋圭君と下村健一様と「組織の価値を高める自覚と責任をもった情報発信とは」をテーマにトークセッションをしました。

トークセッションではJCI仙台の広報戦略についてアドバイスいただき、それぞれが情報の担い手として、発信する前に一旦よく考えて発信することの重要性について様々な事例をもとにディスカッションをさせていただきました。

本例会は本来であれば2月中に開催予定でしたが、2月13日に発生した地震により予定の会場が使えなくなり、急遽、開催日及び開催方法を変更しYouTube Liveでのオンライン配信となりました。



SDGsと防災を考えるフォーラムを仙台市と共催

3月6日(土)・7日(日)

仙台防災未来フォーラム2021

3月6日(土)、7日(日)に開催された『仙台防災未来フォーラム2021』内で「SDGs×防災×杜の都シンポジウム」を仙台市と仙台青年会議所の共催で開催しました。

今回のシンポジウムは「仙台SDGs未来都市計画」で掲げられている地域経済の発展を見据え、仙台市内企業及びSDGs推進企業と団体のSDGsの取り組みと防災に関する

SDGs×防災×杜の都シンポジウム開催

取り組みを発表しました。

当青年会議所からは、理事長の菅原啓太君が登壇し、防災事業の取り組みについて、多様なステークホルダーと防災・減災運動の推進を行ってきた事例を紹介するとともに、SDGsの各ゴールに紐づいた事業実績について発表しました。

当日は、多くの皆様にご来場いただき誠にありがとうございます。



市民と共に仙台の国際化考えるウェビナーの開催 4月10日(土)

第4回例会(4月公開例会) ~For a Bright Future In SENDAI!~

4月10日(土) 仙台青年会議所で仙台の国際化をテーマに3部構成にて公開例会を開催しました。

第1部では仙台観光国際協会(SenTIA) 須藤伸子様と、国際交流の経験をお持ちの未来を担う世代の方々とディスカッションを行いました。相互理解に対する考え方として、交流をする際に相手が何を求めているかを踏まえ、仙台の国際化に向けて具体的にどのように行動していきたいかをお話いただき、仙台を知り、発信していくことが相互理解の本質につながり、仙台の国際化が深まるといった活発な意見が飛び交いました。

第2部では仙台の魅力への理解をさらに深めるべく、歴史と文化を背景とした、時代に合わせた仙台の国際交流のかたちの違いを学びました。また、当時、仙台藩を支えた伊達政宗公の国づくりや、国際化に向けた民間外交を率先して行った先見の明を焦点にお話いただき、仙台への理解と知識を深めることができました。

第3部では、第1部と第2部で得

た気づきをもとに、仙台の国際化が齎す地域益について多角的な視点でパネルディスカッションを行いました。

仙台の良さを広げることが地域の活性化につながり、仙台を好きになるきっかけのひとつが国際交流であるという理解を得ることができ、地域と人を結ぶ国際の機会の重要性を認識する場となるような、仙台の未来に向けた活発なディスカッションとなりました。



正会員へセミナー I 始動！ 5月8日(土)

仮会員セミナー I 開催のご報告

5月8日(土) 書類審査、公式面接を経て仮会員となった18名を対象に仮会員セミナーIを開催いたしました。

本セミナーは、4つのプログラムで構成し、青年会議所の誕生の歴史やこれまでの運動を伝えるとともに、本年度の仙台青年会議所の行動指針となる理事長所信とスローガンについて理事長菅原啓太君より講演いたしました。

また、後半は3つのグループに分かれ地域課題を抽出するグループワークを行い、グループで考えた地域課題の解決策を発表しました。

仮会員セミナーIは、1日を通して

青年会議所の基礎知識、理念について理解し、地域課題を解決する組織としての基礎を学ぶ機会となりました。

尚、本セミナーは、新型コロナウイルス感染予防対策のため参加人数を制限したハイブリット開催をいたしました。



共生と共笑多文化共生を学ぶ！ 5月13日(木)

「違いを楽しみ、力に変える～共に笑える新時代共生～」第5回例会（5月例会）

仙台の国際化が進む中、国際的な視点や多文化共生を学ぶ第5回例会を開催しました。

第1部は、羽衣国際大学教授やタレントとして活躍している、スリランカ生まれのにしゃんた氏をお招きして「共生と共笑」をテーマに、多文化による違いを受け入れて、国際的な人材となるために多文化共生の考え方についてご講演いただきました。

第2部は、仙台国際化協会の須藤伸子氏も講師に仙台市が取り組む国際化の現状を講演いただくとともに、にしゃんた氏、理事長菅原啓太君を交えクロストークを行いました。

ました。

クロストークでは、地域の国際化で身近に起こる事例や課題をテーマにトークを行い、国際化による摩擦を持続的に解消するために、それぞれの立場より考えをお話いただきました。

仙台青年会議所は仙台の国際化や多文化共生の理解「共笑」の輪を拡げていくために、本例会の学びを通しより良い事業を展開してまいります。

尚、本例会は新型コロナウイルス感染予防対策のため、オンラインにて開催いたしました。



正会員へ最終セミナー開催 6月19日(土)

仮会員セミナーⅡ開催のご報告

6月19日(土)仮会員セミナーⅡを開催いたしました。

仮会員セミナーはJCI仙台の正会員になるために仮会員がグループワークやセミナーを通して、地域の課題解決方法や青年会議所の運動論を学ぶ機会として開催されます。仮会員セミナーⅡでは、仮会員セミナーⅠでグループごとに抽出した地域課題に、青年会議所の運動を取り入れた解決方法を計画し発表しました。

また、事業構築セミナーや実際の事業展開事例の講演を通して、青年会議所のメンバーとして青年会議所の運動がどのようなプロセスで構築されているのかを理解する機会となりました。

尚、本セミナーは、仮会員セミナー

Ⅰに引き続き、新型コロナウイルス感染予防対策のため参加人数を制限したハイブリット開催としました。



戦略MGで会社を強くしませんか！

経営者、幹部の皆様
創業を検討の皆様へ



開発から約40年 1万社 500万人が受講

＝参加者募集中＝

mg 仙台



来たれ初心者

戦略MGセミナー

開催日 8/5(木)・10/15(金)
時間 AM8:00～PM8:00
参加費 20,000円
特典 MG道場参加券1年間(12回)進呈！

「戦略MGセミナー」受講後は、「戦略MG道場」へ、目指せ100期！

集まれ経験者

戦略MG道場

開催日 8/19(木)・9/9(木)
時間 PM1:20～PM8:00
参加費 1,000円

戦略MGマネジメントゲームとは

- ①会社経営を、ゲーム感覚で学ぶ経営シミュレーションゲームです
- ②会社を設立し、設備投資・採用・仕入・販売・経理・決算を一人で行います
- ③専門知識不要、ゲームから導かれ、貸借対照表・損益計算書を作成します

特長は全体的経営思考を高め、戦略的な計数管理能力が身につきます。気づきが学び！

申込先 および 開催会場

〒983-0868
仙台市宮城野区鉄砲町中5-6
税理士法人 植松会計事務所 3F会議室
TEL : 022-297-2771
H P : www.uema2-yume.com
Mail : yume@uema2.com

講師 公認インストラクター

税理士法人植松会計事務所首様に
全面的な運営支援を頂いています



NPO法人

夢実現支援隊

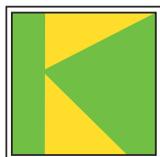


株式会社 ヤマトサービス

ヤマトサービス 足場

検索

夢をはぐくむ建築



株式会社 桂設計

犬猫用 健康補助食品



ペットの悩みに、漢方！

獣医師・薬剤師監修

Wchinokö

うちのこ 漢方シリーズ



ペット漢方.com

http://pet-kampo.com



街でよく見かけるミキサー車。
もしかしたら、私たちの車かもしれません。
戸建てやマンションなどの住宅、学校や職場などの建物の基礎となる生コンクリートをはじめ、
砕石、砂などの建設資材を、昭和58年の創業以来、今日もお届けしています。

あなたの街の生コンクリート

今日も、あなたの街と未来をつくれます。



塩釜港直送 まぐろ井専門店
まぐろ屋
やまもと



幼い頃から
まぐろ丼。

■ まぐろ屋やまもと
一番町店
〒980-0811
仙台市青葉区一番町4-5-16 1F
TEL 022-796-3727(みんなツナ)
☎ 11:00~15:00 / 17:00~23:00

■ まぐろ屋やまもと
イオンモール新利府南館店
〒981-0114
宮城郡利府町新中道3-1-1
TEL 022-349-4020
☎ 10:00~21:00

■ まぐろ屋やまもと
塩釜仲卸市場店
〒985-0001
塩釜市新浜町1-20-74 14号売場
TEL 022-397-7732

公益社団法人仙台青年会議所では、 公式ウェブサイト、Facebook、Instagram、Twitterで 情報を発信しております。

公式ウェブサイトやInstagramだけの情報もございますので、是非アクセスしていただき、「いいね」や「フォロー」をお願いいたします！

各情報は下記のQRコードもしくは、こちらのアドレスよりご覧いただけます！

https://linktr.ee/jci_sendai



JCI Sendai
@jci_sendai

- JCI仙台【YouTube】
- JCI仙台【Official Website】
- JCI仙台【広報誌「のぞみ」】
- JCI仙台【Facebook】
- JCI仙台【Instagram】
- JCI仙台【twitter】

linktree

Facebook



Instagram



Twitter



2021年度
広報委員会

- 委員長 高橋圭司
- 副委員長 豊川 竜
- 副委員長 渡邊 伸一郎
- 幹事 阿部 光貴
- 幹事 阿部 慶太
- 委員 海山 由紀
- 委員 小笠原 智亮
- 委員 高橋 勇也
- 委員 山崎 俊也
- 委員 山崎 俊也
- 委員 森田 俊也
- 委員 三浦 俊也

広報委員会 副委員長 豊川 竜司

公益社団法人仙台青年会議所2021年度広報誌「NOZOMI」をご覧いただきありがとうございます。NOZOMIの締め切りが近くなり、そろそろ梅雨入りしそうな6月中旬、今年も折り返し地点を迎えています。皆様、上半期はいかがでしたでしょうか。私は飲食業のため、時短要請でこの半年ほとんど営業ができず辛い上半期でした。一方で、苦しい中ではありますが、今までできなかったことや新しい取り組みを進めることができました半年でもあります。しかし、連日連夜、コロナコロナコロナ…。息の詰まる毎日です。でもこんな時だからこそ、新しいものが見えるのではないのでしょうか。非日常だからこそ、普段気がつかないことに気が付けた！できないことに取りかかれてよかった！ポジティブにコロナ禍を乗り越えていきたいですね。

さて、今月号の「NOZOMI」では、理事長菅原啓太君とさとう宗幸様との対談が実現しました。さとう宗幸様が歌った、青葉城恋唄と仙台七夕花火祭の関係やヒット曲になるまでの秘話、東日本大震災から10年経った今想うことなどをお話しいただきました。

そして、8月5日(木)に開催予定の仙台七夕花火祭の特集記事もございます。新型コロナウイルス感染症予防対策につき、例年行っている通常の開催方式とは異なりますが、今年度の仙台七夕花火祭で打ち上げる七夕の光で、市民の皆様にも笑顔になっていただけるよう仙台青年会議所メンバーが一丸となって取り組んでまいります。最後になりますが、NOZOMIを発行するにあたりご協力いただきました皆様から感謝申し上げます。編集後記とさせていただきます。

編集後記



SENDAI PREMIUM

お客様の声から生まれた
美味しいコラボレーション



＼おかげさまで1周年♪／ 仙台プレミアム SENDAI PREMIUM

菓匠三全の仙台銘菓「秋の月」と、白謙蒲鉾店の「かまぼこ」を、一度に味わいたい。
そんなお客様の声から誕生した「仙台プレミアム」。

今回はさらに牛タン焼専門店司の「牛タン」をプラスした、とびきり美味しい、特別なコラボレーションをご紹介します。



アナザープレミアム A

7,500円(税込・送料込)

- 牛タンセット(熟成牛タン6枚・牛タン辛み80g)
- 秋の月 8個
- 白謙オリジナルセット
(極上笹 3枚、白謙揚げ 1枚、野菜揚げ 1枚、
ミニ真いか 1枚、ミニ紅しょうが 2枚、チーズ笹 2枚)



アナザープレミアム B

5,200円(税込・送料込)

- 牛タンセット(熟成牛タン4枚・南蛮みそ漬け40g)
- 秋の月 5個
- 白謙オリジナルセット
(極上笹 2枚、ミニ真いか 2枚、ミニ紅しょうが 2枚)



アナザープレミアム ファミリー

4,500円(税込・送料込)

- 牛タンセット(熟成牛タン3枚・南蛮みそ漬け40g)
- 秋の月 5個入[簡易箱]
- 白謙オリジナルセット
(ミニ笹 2枚、チーズ笹 1枚、しそごま笹 2枚、
ミニ真いか 1枚、ミニ紅しょうが 2枚)[簡易箱]

下記サイトより、ご購入いただけます



菓匠三全 オンライン



菓匠三全は 持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



仙台プレミアムの売上の一部を「東北大学クリニカル・スキルスラボ*」に寄付いたしました。
*新型コロナウイルスの感染災害に対し、高度な技術・経験が必要な体外循環装置 ECMO の取り扱いを学ぶプロジェクトです。